

2010年度 学位記授与式・卒業式を挙行了しました

2010年度の学位記授与式・卒業式が、3月21日(月・祝)に大阪・梅田スカイビルにて挙行されました。本年度は3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響で東日本会場での開催は中止し、西日本会場でのみの開催となりました。挙行にあたり出席者一同で、地震の被災者の方々へ黙祷を捧げました。

告辞において反町勝夫学長は、「現在、世界的な不況に陥り、非常に厳しい経済環境、雇用環境になっています。しかしながら、そのような厳しい環境にさらされるときだからこそ、本学で学び取得した知的能力がどれほど戦力となるかをきっと実感する 때가きます。この実績を元に、卒業された皆さんが、大いに活躍し、よき先輩としての模範を示していただきたいと、切に願っております」、「本学で学んだ自信と使命と誇りを持って、艱難に向き合い、これを克服して、誇りある人生を送ってほしい」と卒業生にエールを送りました。

引き続き行われた来賓祝辞(中村達平 保護者会副会長)による送辞でも、門出を祝うと同時に、明るい前途を祈念する言葉が送られました。

それらに対して、卒業生代表(初瀬美帆さん)から「LEC大学の建学の精神である『実社会で本当に必要となる学問』を学ぶことができたLEC大学での4年間は、私たちにとって有意義な、ほんとうに充実した毎日でした」、「今後、幾度と壁にぶつかることと思いますが、LEC大学で学んだ時の気持ちと心構えを忘れずにいれば、どんな困難も乗り越えられるものと確信しています」といった、力強い答辞が述べられました。

